

WTOサービス・クラスター会合（11月16日～25日）の概要

平成22年12月1日
外務省 サービス貿易室

1. G20サミット及びAPECにおけるDDA交渉に関する合意事項が高く評価され、サービス交渉についても積極的な雰囲気醸成された。
2. 主要論点は市場アクセス（特にクラスタリング・アプローチ）、ルール（国内規制・GATSルール等）及び今後の交渉の進め方であった。
3. DDA交渉全体が加速するとの見通しのもと、年明けから市場アクセスとルールの両交渉を本格化させるべしとの意見が多勢を占めた。

1. 概要

- (1) 11月16日から25日まで、ジュネーブにおいて2010年に入って5回目のWTOサービス・クラスター会合（注1）が開催された。
- (2) サービス貿易理事会特別会合及び定例会合（流通及び道路運送の分野別分析ペーパーにつき議論）、4つすべての下部組織の会合（国内規制作業部会、GATSルール作業部会、特定約束委員会、金融サービス委員会）、我が国が主催する海運を含めた幾つかの分野別（海運、会計、ロジスティクス、第3モード等）のフレンズ会合等が開催された。我が国代表団は主要国との二国間協議（米、EU、加、豪、諾、印、中、伯、馬、比、越：計11カ国）も行った。

2. 主要論点・特筆事項

- (1) 市場アクセス交渉では、引き続き、クラスタリング・アプローチ（注2）の具体的内容や今後の進め方が議論の中心。他方、本格的なプルリ交渉が会計サービスにおいて実施され、今後はバイやプルリも含めあらゆるアプローチで市場アクセス交渉を加速させるべきとの意見が大勢を占めた。
- (2) ルール交渉では、サービス貿易にかかる国内規制、緊急セーフガード措置、政府調達、補助金に関する規律（GATSルール）の分野で技術的議論が継続。
- (3) 金融サービス委員会では、中国が提案した金融サービス貿易と開発との関係について引き続き議論。本テーマに関するセミナーが、次々回（4月予定）のクラスター会合において開催される見通しとなった。
- (4) 5年ぶりにMFN免除レビュー（注3）が開催され、我が国も積極的に参加。
- (5) DDA交渉全体が加速するとの見通しのもと、年明けから市場アクセスとルー

ルの両交渉を本格化させるべしとの意見が多勢を占めた。

3. 次回会合の見通し

- (1) 2月中旬から1週間開催の予定。交渉本格化の中で重要な会合となる見通し。
- (2) 定例会合はサービス貿易理事会特別会合、国内規制作業部会、GATSルール作業部会のみが開催され、他の時間はバイ及びプルの交渉に充てられる予定。

注1：WTOサービス交渉に関連する各種会合がまとめて開催されており、これらの会合を一括して「サービス・クラスター会合」と称している。

注2：サービスの関連分野をある程度統合して市場アクセス交渉を進めるアイデア。

注3：WTOサービス貿易一般協定（GATS）では、最恵国待遇（MFN）は無条件で与えられなければならないと規定されているものの、その例外を免除表に掲げることができることになっている。MFN免除レビュー会合はこの免除の数を減らすことを目的として5年に1回開催されることとされており、前回は2004年11月に開催された。

(了)